

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	四国財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第46期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	アオイ電子株式会社
【英訳名】	AOI ELECTRONICS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 中山 康治
【本店の所在の場所】	香川県高松市香西南町455番地の1
【電話番号】	087(882)1131(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 木下 和洋
【最寄りの連絡場所】	香川県高松市香西南町455番地の1
【電話番号】	087(882)1131(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 木下 和洋
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第3四半期連結 累計期間	第46期 第3四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	20,948,564	26,568,137	28,363,414
経常利益(千円)	2,556,413	2,855,551	2,913,422
四半期(当期)純利益(千円)	1,305,449	1,750,790	1,296,270
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,288,055	1,786,168	1,328,947
純資産額(千円)	28,221,232	29,771,150	28,225,121
総資産額(千円)	36,803,972	40,305,497	37,588,972
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	108.79	145.90	108.03
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	76.68	73.86	75.09
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,039,453	2,094,585	4,210,638
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,003,008	1,014,757	1,828,494
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	486,314	426,660	991,099
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	13,750,581	15,136,933	13,595,599

回次	第45期 第3四半期連結 会計期間	第46期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益(円)	37.22	64.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定、または、締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日（平成26年2月14日）現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景とした円安の進行や株価の上昇、個人消費の持ち直し等により大企業を中心に業績が改善傾向にあり、景気は回復基調となりました。一方で、円安の副作用ともいえるべき原材料価格や電気料金の上昇、また、新興国における成長鈍化等、先行き不透明な状況は継続いたしました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、事業所の統廃合や譲渡等の事業の再編が進んでいく中で、自動車関連や通信機器などの一部の製品は好調に推移したものの、民生機器向け部品等は低調に推移いたしました。

このような情勢の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、子会社が前第4四半期連結会計期間から加わったこともあり26,568百万円（前年同期比5,619百万円増、26.8%増）、営業利益は2,608百万円（前年同期比396百万円増、17.9%増）、経常利益は2,855百万円（前年同期比299百万円増、11.7%増）、四半期純利益は1,750百万円（前年同期比445百万円増、34.1%増）となりました。

当社グループの種類別区分ごとの業績であります。集積回路は、通信機器、照明機器向けの部品が堅調に推移したことにより、売上高は23,448百万円（前年同期比5,406百万円増、30.0%増）となりました。機能部品は、サーマルプリントヘッド、特定用途向けセンサーの受注数量が堅調に推移したため、売上高は2,299百万円（前年同期比258百万円増、12.7%増）となりました。受動部品につきましては、チップネットワーク抵抗器の販売単価の下落は進んでいるものの、受注数量が堅調に推移したため、売上高は809百万円（前年同期比44百万円増、5.8%増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、15,136百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,541百万円の増加となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は2,094百万円（前年同期の増加した資金は3,039百万円）となりました。主な資金増加の要因は、税金等調整前四半期純利益2,878百万円、減価償却費1,190百万円、仕入債務の増加額969百万円等であり、主な資金減少の要因は、賞与引当金の減少額402百万円、売上債権の増加額1,483百万円、法人税等の支払額1,212百万円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,014百万円（前年同期の減少した資金は1,003百万円）となりました。主な資金増加の要因は、保険積立金の解約による収入107百万円等であり、主な資金減少の要因は、有形固定資産の取得による支出1,100百万円等であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は426百万円（前年同期の減少した資金は486百万円）となりました。資金増加の要因は、短期借入れによる収入1,440百万円、長期借入れによる収入1,800百万円であり、主な資金減少の要因は、短期借入金の返済による支出2,155百万円、長期借入金の返済による支出378百万円、配当金の支払額239百万円等によるものであります。

#### (3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、761百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産の部につきましては、現金及び預金・売上債権など流動資産の増加により40,305百万円（前連結会計年度末比2,716百万円増）となりました。負債の部につきましては、仕入債務などの流動負債および長期借入金による固定負債の増加により、10,534百万円（前連結会計年度末比1,170百万円増）となりました。これらの結果、純資産の部は29,771百万円（前連結会計年度末比1,546百万円増）、自己資本比率は73.9%となりました。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,600,000
計	40,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	12,000,000	-	4,545,500	-	5,790,950

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 11,998,600	119,986	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	-
発行済株式総数	普通株式 12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	119,986	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
アオイ電子株式会社	香川県高松市香西南町455-1	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	管理本部長	取締役	管理本部長	木下和洋	平成25年7月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について監査法人ラットランドによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,595,599	15,136,933
受取手形及び売掛金	7,156,124	8,639,174
商品及び製品	150,286	177,101
仕掛品	655,171	782,501
原材料及び貯蔵品	830,649	1,008,266
前払費用	38,807	81,217
繰延税金資産	300,315	126,249
その他	269,689	30,900
流動資産合計	22,996,645	25,982,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,112,487	15,181,001
減価償却累計額及び減損損失累計額	9,665,860	10,124,707
建物及び構築物(純額)	5,446,626	5,056,294
機械装置及び運搬具	40,454,832	40,286,572
減価償却累計額及び減損損失累計額	38,945,280	38,820,325
機械装置及び運搬具(純額)	1,509,551	1,466,247
工具、器具及び備品	7,018,124	7,179,622
減価償却累計額及び減損損失累計額	6,692,480	6,738,170
工具、器具及び備品(純額)	325,644	441,451
土地	3,097,133	3,097,133
リース資産	264,196	255,562
減価償却累計額及び減損損失累計額	121,428	138,019
リース資産(純額)	142,767	117,543
建設仮勘定	105,029	252,882
有形固定資産合計	10,626,754	10,431,553
無形固定資産		
のれん	297,466	280,909
その他	281,334	252,956
無形固定資産合計	578,800	533,865
投資その他の資産		
投資有価証券	2,177,214	2,310,186
前払年金費用	325,891	281,834
繰延税金資産	399,575	361,730
その他	484,090	403,981
投資その他の資産合計	3,386,771	3,357,732
固定資産合計	14,592,326	14,323,151
資産合計	37,588,972	40,305,497



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,353,145	4,322,704
短期借入金	1,190,000	475,000
1年内返済予定の長期借入金	289,000	359,192
リース債務	49,823	50,275
未払金	1,291,032	1,405,064
未払法人税等	715,920	420,982
賞与引当金	558,042	155,430
その他	742,305	898,120
流動負債合計	8,189,271	8,086,769
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	-	1,351,010
リース債務	94,948	68,899
退職給付引当金	250,406	229,017
役員退職慰労引当金	433,608	386,820
その他	95,616	111,828
固定負債合計	1,174,580	2,447,576
負債合計	9,363,851	10,534,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,545,500	4,545,500
資本剰余金	5,790,950	5,790,950
利益剰余金	17,901,053	19,411,852
自己株式	465	612
株主資本合計	28,237,038	29,747,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,917	23,460
その他の包括利益累計額合計	11,917	23,460
純資産合計	28,225,121	29,771,150
負債純資産合計	37,588,972	40,305,497

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	20,948,564	26,568,137
売上原価	16,769,183	21,629,977
売上総利益	4,179,380	4,938,160
販売費及び一般管理費	1,967,438	2,329,929
営業利益	2,211,942	2,608,230
営業外収益		
受取利息	845	802
受取配当金	3,889	4,904
受取技術料	104,811	29,748
為替差益	89,529	79,015
持分法による投資利益	67,125	119,023
その他	148,891	79,477
営業外収益合計	415,092	312,972
営業外費用		
支払利息	20,591	14,968
支払補償費	14,890	19,185
貸与資産減価償却費	29,922	23,283
その他	5,216	8,213
営業外費用合計	70,620	65,651
経常利益	2,556,413	2,855,551
特別利益		
固定資産売却益	1,005	24,008
特別利益合計	1,005	24,008
特別損失		
固定資産除却損	152,497	1,021
投資有価証券評価損	2,365	-
特別損失合計	154,862	1,021
税金等調整前四半期純利益	2,402,556	2,878,539
法人税、住民税及び事業税	762,950	931,825
法人税等調整額	334,156	195,923
法人税等合計	1,097,106	1,127,749
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305,449	1,750,790
四半期純利益	1,305,449	1,750,790

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305,449	1,750,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,393	35,378
その他の包括利益合計	17,393	35,378
四半期包括利益	1,288,055	1,786,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,288,055	1,786,168
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,402,556	2,878,539
減価償却費	1,393,975	1,190,350
その他の償却額	39,800	49,704
のれん償却額	7,044	16,557
固定資産除却損	152,497	1,021
固定資産売却損益(は益)	1,005	24,008
賞与引当金の増減額(は減少)	311,970	402,612
退職給付引当金の増減額(は減少)	-	21,388
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	-	46,788
受取利息及び受取配当金	4,734	5,707
支払利息	20,591	14,968
為替差損益(は益)	89,304	34,845
保険解約損益(は益)	-	4,284
投資有価証券評価損益(は益)	2,365	-
持分法による投資損益(は益)	67,125	119,023
売上債権の増減額(は増加)	198,730	1,483,050
たな卸資産の増減額(は増加)	321,123	331,761
その他の資産の増減額(は増加)	135,596	266,828
仕入債務の増減額(は減少)	503,390	969,558
その他の負債の増減額(は減少)	90,940	354,470
小計	3,970,342	3,277,097
利息及び配当金の受取額	4,102	45,875
利息の支払額	20,270	15,698
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	914,721	1,212,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,039,453	2,094,585
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	942,041	1,100,337
有形固定資産の除却による支出	5,670	-
有形固定資産の売却による収入	1,879	31,132
無形固定資産の取得による支出	22,205	14,982
ゴルフ会員権の取得による支出	-	2,500
保険積立金の解約による収入	-	107,737
差入保証金の回収による収入	195	18
その他の支出	35,166	35,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,003,008	1,014,757
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,890,000	1,440,000
短期借入金の返済による支出	1,605,000	2,155,000
長期借入れによる収入	-	1,800,000
長期借入金の返済による支出	483,300	378,798
リース債務の返済による支出	-	39,402
自己株式の取得による支出	22	146
配当金の支払額	287,992	239,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	486,314	426,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	89,304	34,845
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,639,434	1,541,333
現金及び現金同等物の期首残高	12,111,146	13,595,599

現金及び現金同等物の四半期末残高	13,750,581	15,136,933
------------------	------------	------------

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表関係）

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	54,470千円	27,059千円
支払手形	366,454	445,255
その他（設備関係支払手形）	19,443	34,502

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	13,750,581千円	15,136,933千円
現金及び現金同等物	13,750,581	15,136,933

（株主資本等関係）

前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	119,996	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月2日 取締役会	普通株式	167,995	14	平成24年9月30日	平成24年12月6日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	119,996	10	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月1日 取締役会	普通株式	119,995	10	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

当社グループは、電気・電子部品の製造販売を事業内容とする単一セグメントであり、当社グループ全体で包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。よって、セグメント情報の記載は省略しております。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）
1株当たり四半期純利益	108円79銭	145円90銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益（千円）	1,305,449	1,750,790
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益（千円）	1,305,449	1,750,790
普通株式の期中平均株式数（千株）	11,999	11,999

（注） 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年11月1日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

（イ）中間配当による配当金の総額.....119,995千円

（ロ）1株当たりの金額.....10円00銭

（ハ）支払請求の効力発生日および支払開始日.....平成25年12月5日

（注） 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

アオイ電子株式会社

取締役会 御中

### 監査法人 ラットランド

指定社員 公認会計士 長谷川 正治 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 小野 泰 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアオイ電子株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アオイ電子株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。